

第6次国有林野施業実施計画書（案）

（上越森林計画区）

自 令和3年4月1日
計画期間
至 令和8年3月31日

関東森林管理局

目 次

1	国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域	1
2	施業群の名称及び区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量	1
(1)	伐採造林計画簿	1
(2)	水源涵養タイプにおける施業群別面積等	1
(3)	水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積	1
(4)	伐採総量	2
(5)	更新総量	3
(6)	保育総量	3
3	林道等の整備に関する事項	4
4	治山に関する事項	4
5	保護林及び緑の回廊の名称及び区域	5
(1)	保護林の名称及び区域	5
(2)	緑の回廊の名称及び区域	5
6	レクリエーションの森の名称及び区域	6
7	公益的機能維持増進協定の名称及び区域	12
8	その他必要な事項	12
(1)	施業指標林、試験地等	12
(2)	フィールドの提供	13
(3)	森林共同施業団地	14
(4)	その他	14

附属参考資料

(1)	国有林野の現況	15
(2)	機能類型別の国有林野の現況	16
(3)	林道等の現況	17
(4)	収穫予想表	17
(5)	地元施設等の現況	17

1 国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域

国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域については、別添国有林野施業実施計画図による。

2 施業群の名称及び区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(1) 伐採造林計画簿

伐採・更新箇所ごとの伐採・更新面積及び方法等については、別冊「伐採造林計画簿」に示すとおりである。

(2) 水源涵養タイプにおける施業群別面積等

(単位：面積 ha、伐期齢 年)

施業群	細分	面積	取扱いの内容	伐期齢又は回帰年
通常伐期	スギ分散伐区	22.14	森林の管理経営の指針による	60
長伐期	スギ長伐期	95.25	〃	100
複層林	スギ複層林	192.47	〃	60～120
天然林・その他	択伐	5,162.70	〃	回帰年は定めない
	その他	4.31	〃	定めない
設定外(注1)		9.04		定めない
合計		5,485.91		

(注) 1. 施業群設定外は分収林、更新困難地等の特定の施業方法を設定することが適当でない林地とする。

2. 面積は林地面積を計上している。

(3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積

(単位：ha)

施業群	上限伐採面積	備考
通常伐期	2	スギ分散伐区 (2)
長伐期	5	スギ長伐期 (5)
複層林	16	スギ複層林 (16)
天然林・その他	516	択伐 (516)
		その他 (0.4)
合計	539	

(注) 備考欄は、施業群の細分で () は細分個々の上限伐採面積である。

(4) 伐採総量

(単位：m³)

区 分	林			地		林地 以外	合 計		
	主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量	計				
山地災害防止タイプ	1,361	3,741 (24.47)	5,102	/	/	/	/		
自然維持タイプ	—	—	—						
森林空間利用タイプ	2,099	8,066 (79.00)	10,165						
快適環境形成タイプ	—	—	—						
水源涵養タイプ	通常伐期	スギ分散伐区	—						
	長伐期	スギ長伐期	—					189	189
	複層林	スギ複層林	2,065					7,367	9,432
	天然林 その他	択 伐	—					—	—
		その他	—					—	—
	設 定 外	—	—					—	1,850
計	3,915	7,556 (68.51)	11,471						
合 計	7,375	19,363 (171.98)	26,738	2,000	28,738	—	28,738		
年 平 均	1,475	3,873 (34.40)	5,348	400	5,748	—	5,748		

(注) () は、間伐面積(ha)である。

(再 掲) 市町村別内訳

(単位：m³)

市 町 村 名	林			地		林地 以外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量	計		
妙 高 市	7,375	10,594	17,969	/	/	/	/
上 越 市	—	8,769	8,769				
合 計	7,375	19,363	26,738				

(注) 市町村別内訳には、臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まない。

(5) 更新総量

(単位：ha)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	合 計
人工 造林	単層林造成	—	—	—	—	2.11	2.11
	複層林造成	—	—	—	2.06	9.77	11.83
	計	—	—	—	—		13.94
天然 更新	天然下種第1類	—	—	14.00	—	—	14.00
	天然下種第2類	—	—	—	—	—	—
	ぼう芽	—	—	—	—	—	—
	計	—	—	14.00	—	—	14.00
合 計		—	—	14.00	2.06	11.83	27.94

(6) 保育総量

(単位：ha)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	合 計
保 育	下刈	1.89	—	—	—	13.83	15.72
	つる切	—	—	2.10	—	—	2.01
	除伐	3.41	—	2.10	—	1.23	6.74

3 林道等の整備に関する事項

基幹・その他別	開設 ・ 改良	路線名	箇所 (林班)	延長 (m)	備考	
その他	開設	小エンドウ (林業専用道)	1	2,000		
		深山 (林業専用道)	81	2,000		
	小計	2路線		4,000		
	改良	杉野沢 (杉野沢)	38外	500		
		杉野沢ニグロ川支線	53外	100		
		杉野沢 (氷沢)	64外	100		
		藤巻	20外	300		
		杉野沢氷沢支線	64	100		
		杉野沢 (笹ヶ峰線)	36	100		
	小計	6路線		1,200		
	計	開設	2路線		2,000	
		改良	6路線		1,200	

(注) 災害復旧等緊急を要する工事については、指定箇所以外においても実行できるものとする。

4 治山に関する事項

位置 (林班)	市町村	区分	工種	計画量
93、99、101～105、107、 110、111、113	糸魚川市	保安施設	溪間工	24か所
			山腹工	2か所
14、15、23、25、27、31、 38～40、43、45、50、85	妙高市		溪間工	11か所
			山腹工	4か所
72	上越市		溪間工	1か所
			山腹工	1か所
82	上越市	地すべり防止	山腹工	1か所
合計		保安施設		43か所
		地すべり防止		1か所

(注) 災害復旧等緊急を要する工事については、指定箇所以外においても実行できるものとする。

5 保護林及び緑の回廊の名称及び区域

(1) 保護林の名称及び区域

原生的な森林生態系からなる自然環境、地域固有の生物群集を有する森林及び希少な野生生物の生育・生息に必要な森林の保護・管理を目的として、下記のとおり保護林を設定しており、貴重な天然林等の自然環境維持に配慮しながら適切に保護・管理を図っていくこととする。

区 分	名 称	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	特 徴 等	備 考
希少個体群 保 護 林	犬ヶ岳ホン シヤクナゲ	115.00	108ロ	北アルプス北端の犬ヶ岳から黒岩山を結ぶ稜線の東斜面において、ヒメコマツ、クロベ等が点生する天然林の林下に生育しているホンシヤクナゲ群落である。	
	蓮 華 ライチョウ	974.82	100イ 102ニ2～ニ6	ライチョウの生息環境となっている長母山～雪倉岳～三国境～小蓮華山等に連なる稜線に分布しているハイマツ群落及び白馬山系高山植物地帯である。	
	火打山周辺 ライチョウ	826.74	11イ3 13ロ2 41イ 42ロ1 44イ 49イ 93イ18	ライチョウの生息環境となっている裏金山～焼山～影火打～火打山～雷鳥平に連なる稜線に分布しているハイマツ群落及び妙高山連峰高山植物地帯である。	
計	3か所	1,916.56			
合 計	3か所	1,916.56			

(注) 面積欄は、設定区域の全体面積を計上しているが、実際の保護林の面積は、保護林から除外すべき区域（貸付地等）を除外した面積である。

(2) 緑の回廊の名称及び区域

該当なし。

6 レクリエーションの森の名称及び区域

種類	名称	面積 (ha)	位置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
自然休養林	笹ヶ峰	2,200.67	35 に、ほ、と～ぬ、る2 36 い～は2、ほ、と、ち	関川最上流に位置し、 標高約1,300～1,900mの 山岳地帯に設定。笹ヶ峰 ダム上流部に接した区域 は、隣接民有地の国民休 暇村、笹ヶ峰牧場、笹ヶ 峰ダム等と一体的な利用 を図るものであり、森林 浴、研修の場等として利 用されている。 笹ヶ峰ダム右岸に接す る区域及びトクサ沢川上 流部の区域は、一部カラ マツ人工林を含むもの の、大部分はブナ・ミズ ナラ等で構成され、優れ た自然景観を形成してお り、登山、自然探勝、森 林動植物の生態観察等に 利用されている。 また、笹ヶ峰、夢見平 の散策路の一部は安全で 歩きやすい歩道として整 備しており、「森林セラ ピーロード」としても認 定されている。	育成複層林 へ導くため の施業（以 下「育成複 層林施業」 という。）	実施主体：国 ・歩道 ・展望施設	国が実施 する施設整 備の計画な し	
		365.33 37 い1、い2、は、ほ、 ち～わ1 38 い2、に1～と、ぬ、 る1、か、よ、 そ～ね、ら、う～の2 39 は1、は2 45 い2、は～わ2、よ 50 い～は、ほ、り、 る1、わ、た、な～の 57 は～ほ3、と～り、 る1～る3、た、れ、 つ、ね、ら 64 に、～8						
		1,835.34	35 い～は2、へ、る1、 わ、か 36 に1～に4、へ、り、 ぬ 37 ろ、に、へ、と、 わ2～た 38 い1、い3～は、ち、 り、る2、わ、 た～れ3、な、む、お 39 い、ろ、に 45 い1、ろ、か、た～そ		天然生林へ 導くための 施業（以下 「天然生林 施業」とい う。）	実施主体：妙高市 ・歩道 ・避難小屋 ・便所		

種 類	名 称	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	選 定 理 由	施 業 方 法	既 存 施 設 の 概 要	施 設 整 備	備 考
野 外 ス ポ ー ツ 地 域	妙高山ス ポーツ林		23 ろ〜と、か〜よ2、 た〜ね3、な、ら、う1 25 は2、に、へ、 り1〜わ、よ、た 27 ぬ1、ぬ2、わ1〜か、 れ 28 ろ〜り2、ぬ1、か1、 か2、た〜そ2、 ね〜む、お、ま、ふ、 え〜て3、き1、 き4〜ひ2 29 ち〜わ、た〜つ2、 む1、う1〜や1、け、 ふ、え、あ1、あ2		育成複層林 施業	実施主体：妙高市 ・駐車場	国が実施 する施設整 備の計画な し	
			間伐面積 25.91ha		実施主体：民間 ・リフト等 ・休憩施設 ・運動施設 ・宿泊施設 ・野営場 ・駐車場			
			22 う2、の2 23 い、ち〜わ、よ3、 よ4、ね4、む、 う2〜う4 25 い〜は1、ほ、と、 ち、か 27 ち1〜り、る、よ、 た、そ〜う5 28 い、よ、そ3、つ、 う、の、く、や、け、 こ、あ、さ、き2、 き3、も 29 と、か、よ、ね〜ら、		天然生林施 業			

種類	名称	面積 (ha)	位置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
野 外 ス ポ ー ツ 地 域	妙高山スポーツ林		29や2～ま、こ、て1～て 3、さ～せ2 30い～ほ、ぬ3 ----- 23イ1～ハ 25イ 27イ1～イ3、ハ、ニ 28イ1～イ5 29ロ1～ロ3、ハ4、ホ 30イ		天然生林施業 ----- 林地以外		国が実施する施設整備の計画なし	
	妙高杉野沢スポーツ林	481.10	32い～は、ほ、ち、 ぬ2、れ、つ、 ら～う、お、く、ま 33ろ～ち 34ほ ----- 32に、へ、と、り、 ぬ1、る～よ、そ、 ね、な、の、や 33い、り～わ 34い～に、へ1、へ2、わ2 ----- 33イ～ハ2 34イ、ロ	赤倉山の南山腹、標高約1,000～2,000mに位置し、積雪も多く雪質良好で、変化に富んだスキーコースを有し、周辺民有地には宿泊施設が完備されており、初級者から上級者まで幅広く利用されている。	育成複層林施業 間伐面積 22.29ha ----- 天然生林施業 ----- 林地以外	実施主体：民間 ・リフト等	国が実施する施設整備の計画なし	

種類	名称	面積 (ha)	位置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
野外 スポーツ 地域	菱ヶ岳ス ポーツ林	170.81	74に、へ	菱ヶ岳の北面、標高約70 0～1,100mに位置し、積 雪も多く雪質良好で、地 形の変化に富み、12月～ 3月までの利用が可能な スキー場であり、民有地 と一体となって利用され ている。	育成複層林 施業	実施主体：民間 ・リフト等	国が実施 する施設整 備の計画な し	
			74い～は、ほ、と～る2		天然生林施 業			
			74イ～ト		林地以外			
計	3か所	1,398.33						
風 致 探 勝 林	蓮 華	42.63	101ほ、へ	コメツガ・ブナを中心と する原生的な森林と高山 植物に富む。またレクリ エーションの森区域内に 蓮華温泉もあり、自然探 勝、登山、ハイキング、 湯治等に利用されてい る。	天然性林施 業	実施主体：新潟県 ・歩道 ・野営場	国が実施 する施設整 備の計画な し	
			102い2		林地以外			
			101イ 102イ1～ロ		林地以外			
計	1か所	42.63				実施主体：糸魚川市 ・駐車場 ・休憩所 実施主体：民間 ・宿泊施設		

種 類	名 称	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	選 定 理 由	施 業 方 法	既 存 施 設 の 概 要	施 設 整 備	備 考
その他 (レクリ エーショ ン施設 敷)	黒 沢 ヒ ュ ッ テ	0.08	16イ	単独レクリエーション施設	林 地 以 外	実施主体：民間 ・ 宿泊施設	国が実施 する施設整 備の計画な し	
	大 谷 ヒ ュ ッ テ	0.10	31イ	〃	〃	実施主体：新潟県 ・ 避難小屋	〃	
	高 谷 池 ヒ ュ ッ テ	0.08	42イ	〃	〃	実施主体：妙高市 ・ 宿泊施設	〃	
	カモシカ 展 望 台	0.01	101ニ	〃	〃	実施主体：糸魚川市 ・ 展望台	〃	
計	4か所	0.27						
合 計		3,641.90						

7 公益的機能維持増進協定の名称及び区域

該当なし。

8 その他必要な事項

(1) 施業指標林、試験地等

種 類	名 称	設定年月	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	備 考
試 験 地	妙高・幕の沢 雪崩試験地	平成14.7	130.20	22の1、の2、 う3、う4 23よ2、た、 れ、う1、 う2、の、 お、く、イ2	雪崩の発生を検知し、 雪崩の発生条件を解明 する。
試験地 計			130.20		
展 示 林	五万戸スギ展示林	平成20.7	1.77	24う1	「美しい森林づくり推 進国民運動」の推進を 図るため、民有林にお ける間伐等の森林整備 を促進し、具体的な森 林施業の紹介やPRを 行う。
展示林 計			1.77		

(2) フィールドの提供

対象地 (林小班)	設定の目的	備 考
104ち1、ち3、ち4	ふれあいの森 (鏡池ふれあいの森)	設 定：平成12年3月 実施主体：上越市 面 積：44.12ha
22よ1～よ3、 そ～う2 24い～み3 57ろ～ぬ、る2、 る3、よ～れ 64ろ1～に、 へ1～へ8	遊々の森 (妙高遊々の森)	設 定：平成17年12月 実施主体：独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立妙高青少年自然の家 面 積：456.20ha
72ろ 73へ 74る2 75ほ 76る 77の 78ら 79い、ろ 80へ1、へ2 81そ1、そ2 82ち 83ら、む、の1、こ 84れ 85わ、か、こ、あ 86よ、つ	多様な活動の森 (関田トレイル)	設 定：平成16年10月 実施主体：NPO法人信越トレイルクラブ

(3) 森林共同施業団地
該当なし。

(4) その他
レクリエーションの森以外の森林空間利用タイプの施業方法

位 置	面 積 (ha)	施業方法
29ほ	0.06	育成単層林 施業
27ろ～と 28ぬ2～る7、わ2 29い、に、へ 34ち 81い2～は、ほ、と、ぬ1～ぬ3、る2、か、ね、う3～う5、 う8 82ろ1、ろ2 103い、ろ	88.16	育成複層林 施業
27い2 28り3、る8、わ1 29ろ、は 30へ～ぬ2、る～か 34と、り～る 73全 81い1、に、へ、ち、り、る1、わ、よ～つ、な～う2、う6、 う7、の1、の2 82い 100い 101い～に 102い1、い3、に、ほ 103は、に	1,198.74	天然生林施 業
29イ、ハ1、ハ2、ニ 75イ 101ロ、ハ 102ハ1、ハ2 103イ1、イ2 114イ	7.05	林地以外
計	1,294.01	

(注) (1)、(2)の箇所を除く。

附 属 参 考 资 料

(1) 国有林野の現況

① 担当区別の区域及び面積

(単位：面積 ha)

担当区	関 係 市 町 村	要 存 置 林 野		不 要 存 置 林 野 面 積	官 行 造 林 地 面 積
		面 積	関 係 林 班		
妙 高	妙 高 市	11,515.24	17~67	—	27.70
	小 計	11,515.24		—	27.70
高 田	妙 高 市	3,585.35	1~3、7~16、85~86	—	5.00
	上 越 市	4,283.57	4~6、68~70、72~84、114~115	—	10.01
	小 計	7,868.92		—	15.01
糸 魚 川	糸 魚 川 市	16,177.98	87~113	—	122.54
	小 計	16,177.98		—	122.54
計		35,562.14		—	165.25

② 保安林、自然公園等の面積

(単位：面積 ha)

種 類	細 分	面 積	備 考
保 安 林	水 源 かん養	29,525.96	
	土 砂 流出防備	5,522.75	
	防 風	94.74	
	保 健	1,710.48	
	計	34,207.61	
砂 防 指 定 地		4.98	
国 立 公 園	特別保護地区	3,935.62	
	第1種特別地域	3,383.85	
	第2種特別地域	9,335.19	
	第3種特別地域	6,046.94	
	普通地域	1,430.84	
計	24,132.44		
国 定 公 園	第1種特別地域	160.90	
	第2種特別地域	38.28	
	第3種特別地域	181.90	
	計	381.08	
県 立 自 然 公 園	第2種特別地域	425.09	
	第3種特別地域	1,141.89	
	普通地区	1,713.32	
	計	3,280.30	
鳥 獣 保 護 区	特別保護地区	3,968.05	
	普通地区	16,822.19	
	計	20,790.24	
史 跡 名 勝 天 然 記 念 物		974.82	

(注) 保安林の「計」欄は保安林種ごとの重複関係を除く面積を計上した。

(2) 機能類型別の国有林野の現況

(単位：面積 ha, 材積 m³)

機能類型 林種	山地災害防止タイプ						快適環境形成タイプ		
	土砂流出崩壊防備		気象害防備		計		面積	材積	
	面積	材積	面積	材積	面積	材積			
人工林	育成単層林	10.90	2,457	77.07	27,472	87.97	29,929		
	育成複層林	6.63	1,510	10.20	3,429	16.83	4,939		
	小計	17.53	3,967	87.27	30,901	104.80	34,868		
天然林	育成単層林								
	育成複層林	424.71	61,663	1.07	279	425.78	61,942		
	天然生林	6,180.11	714,593	0.53	135	6,180.64	714,728		
	小計	6,604.82	776,256	1.60	414	6,606.42	776,670		
無立木地									
竹林									
林地計	6,622.35	780,223	88.87	31,315	6,711.22	811,538			
林地以外	1,400.55		2.39		1,402.94				
合計	8,022.90	780,223	91.26	31,315	8,114.16	811,538			

(単位：面積 ha, 材積 m³)

水源かん養タイプ		自然維持タイプ		森林空間利用タイプ		合計	
面積	材積	面積	材積	面積	材積	面積	材積
226.01	66,690			270.10	76,244	584.08	172,863
55.53	19,451			291.72	69,614	364.08	94,004
281.54	86,141			561.82	145,858	948.16	266,867
392.88	86,946	1,044.19	78,829	505.45	67,549	2,368.30	295,266
4,811.49	617,193	10,970.57	670,974	3,569.76	458,872	25,532.46	2,461,767
5,204.37	704,139	12,014.76	749,803	4,075.21	526,421	27,900.76	2,757,033
5,485.91	790,280	12,014.76	749,803	4,637.03	672,279	28,848.92	3,023,900
87.05		4,927.65		295.58	85	6,713.22	85
5,572.96	790,280	16,942.41	749,803	4,932.61	672,364	35,562.14	3,023,985

(3) 林道等の現況

(単位：km)

区 分	林 道			林業専用道
	自動車道	軽 車 道	合 計	
延 長	23.46	—	23.46	—

(4) 収穫予想表

18 ページ以降に示すとおりである。

森林調査簿の地位級と収穫予想表の地位との対比

収穫予想表 の 地 位	森 林 調 査 簿 の 地 位 級		
	ス ギ	カ ラ マ ツ	その他N・L
1	10 以上	6 以上	3
2	7～9	5 以上	2
3	6 以下	—	1

(5) 地元施設等の現況

(単位：ha)

区 分	分収造林契 約に基づく 分 収 林	分収育林契 約に基づく 分 収 林	共 用 林 野			
			普 通	薪 炭	放 牧	合 計
面 積	—	9.10	17,619.56	—	—	17,619.56

貸 地					
植 樹 用 地	農 耕 用 地	鉱 業 用 地	道 路 用 地	水 路 用 地	電 気 事 業 用 地
—	—	—	45.28	3.23	12.98

貸 地					
温 鉱 泉 用 地	学 校 用 地	採 草 放 牧 地	建 物 用 地	そ の 他 貸 地	合 計
0.93	—	—	0.80	217.62	280.12

収穫予想表

樹種 針葉樹

樹種 広葉樹

年齢 級	地位 2				林 年齢 年
	主 副 林 木 合 計				
	1ha当り			成 長 率 %	
	幹 材 積 m ³	連 年 成 長 量 m ³	平 均 成 長 量 m ³		
I					5
II					10
III	16		1.1		15
IV	25	1.8	1.3	9.3	20
V	35	2.0	1.4	7.0	25
VI	46	2.2	1.5	5.6	30
VII	59	2.6	1.7	5.1	35
VIII	72	2.6	1.8	4.1	40
IX	86	2.8	1.9	3.6	45
X	100	2.8	2.0	3.1	50
X I	112	2.4	2.0	2.3	55
X II	124	2.4	2.1	2.1	60
X III	136	2.4	2.1	1.9	65
X IV	146	2.0	2.1	1.4	70
X V	156	2.0	2.1	1.3	75
X VI	164	1.6	2.1	1.0	80
X VII	172	1.6	2.0	1.0	85
X VIII	179	1.4	2.0	0.8	90
X IX	186	1.4	2.0	0.8	95
X X	193	1.4	1.9	0.7	100
X X I	199	1.2	1.9	0.6	105
X X II	204	1.0	1.9	0.5	110
X X III	208	0.8	1.8	0.4	115
X X IV	211	0.6	1.8	0.3	120

年齢 級	地位 2				林 年齢 年
	主 副 林 木 合 計				
	1ha当り			成 長 率 %	
	幹 材 積 m ³	連 年 成 長 量 m ³	平 均 成 長 量 m ³		
I					5
II	6		0.6		10
III	11	1.0	0.7	12.9	15
IV	18	1.4	0.9	10.4	20
V	27	1.8	1.1	8.4	25
VI	37	2.0	1.2	6.5	30
VII	48	2.2	1.4	5.3	35
VIII	60	2.4	1.5	4.6	40
IX	72	2.4	1.6	3.7	45
X	84	2.4	1.7	3.1	50
X I	95	2.2	1.7	2.5	55
X II	106	2.2	1.8	2.2	60
X III	117	2.2	1.8	2.0	65
X IV	128	2.2	1.8	1.8	70
X V	138	2.0	1.8	1.5	75
X VI	147	1.8	1.8	1.3	80
X VII	155	1.6	1.8	1.1	85
X VIII	162	1.4	1.8	0.9	90
X IX	168	1.2	1.8	0.7	95
X X	173	1.0	1.7	0.6	100
X X I	177	0.8	1.7	0.5	105
X X II	180	0.6	1.6	0.3	110
X X III	182	0.4	1.6	0.2	115
X X IV	184	0.4	1.5	0.2	120

※成長率はライプニッツ式を用いて算出

収穫予想表

樹種 広葉樹(ぼう芽)

齡 級	地 位 1				地 位 2				地 位 3				林 齡 年
	主 副 林 木 合 計				主 副 林 木 合 計				主 副 林 木 合 計				
	1ha当り			成 長 率 %	1ha当り			成 長 率 %	1ha当り			成 長 率 %	
	幹 材 積 m ³	連 年 成 長 量 m ³	平 均 成 長 量 m ³		幹 材 積 m ³	連 年 成 長 量 m ³	平 均 成 長 量 m ³		幹 材 積 m ³	連 年 成 長 量 m ³	平 均 成 長 量 m ³		
I													5
II													10
III					10		0.7						15
IV					19	1.8	13.7	1.0					20
V					30	2.2	9.6	1.2					25
VI					41	2.2	6.4	1.4					30
VII					52	2.2	4.9	1.5					35
VIII					63	2.2	3.9	1.6					40
IX					74	2.2	3.3	1.6					45
X					82	1.6	2.1	1.6					50

※成長率はライブニツツ式を用いて算出